

旧ウォーカー住宅

この家は、1915 年にロバート・ウォーカー(1881~1958 年)が購入し、1958 年に亡くなるまで家族と暮らした。ロバートは日本人の女性のフクダ・サトウ(1859~1894 年)の息子で、1874 年に初めて来日したイギリス人船長と事業者ロバート・N・ウォーカー(1851~1941 年)の次男だった。ロバート・シニアは 1898 年に R・N・ウォーカーを創業し、1904 年に万歳飲料製造所を設立し、日本初の炭酸飲料の一つを製造。1908 年、ロバート・シニアはカナダに渡り、ロバート・ジュニアが父親の事業を引き継いだ。ロバート・ジュニアは 1928 年に日本国民となり、第二次世界大戦中の抑留や強制送還を免れた。

旧ウォーカー住宅はもともと南山手 28 号に建てられたが、1974 年にグラバー園に寄贈され、移築されていた。十九世紀最後の数十年間に長崎居留地に建てられた木材の家の好例で、ウォーカー住宅には、大きなベランダ、出窓、暖炉、瓦屋根があり、その家の調度品はウォーカー家から寄付された。

採用番号 NO :	023-009
-----------	---------